

信託の醸成

統合報告を起点としたステークホルダーエンゲージメント

サステナビリティ優先課題の抽出プロセス

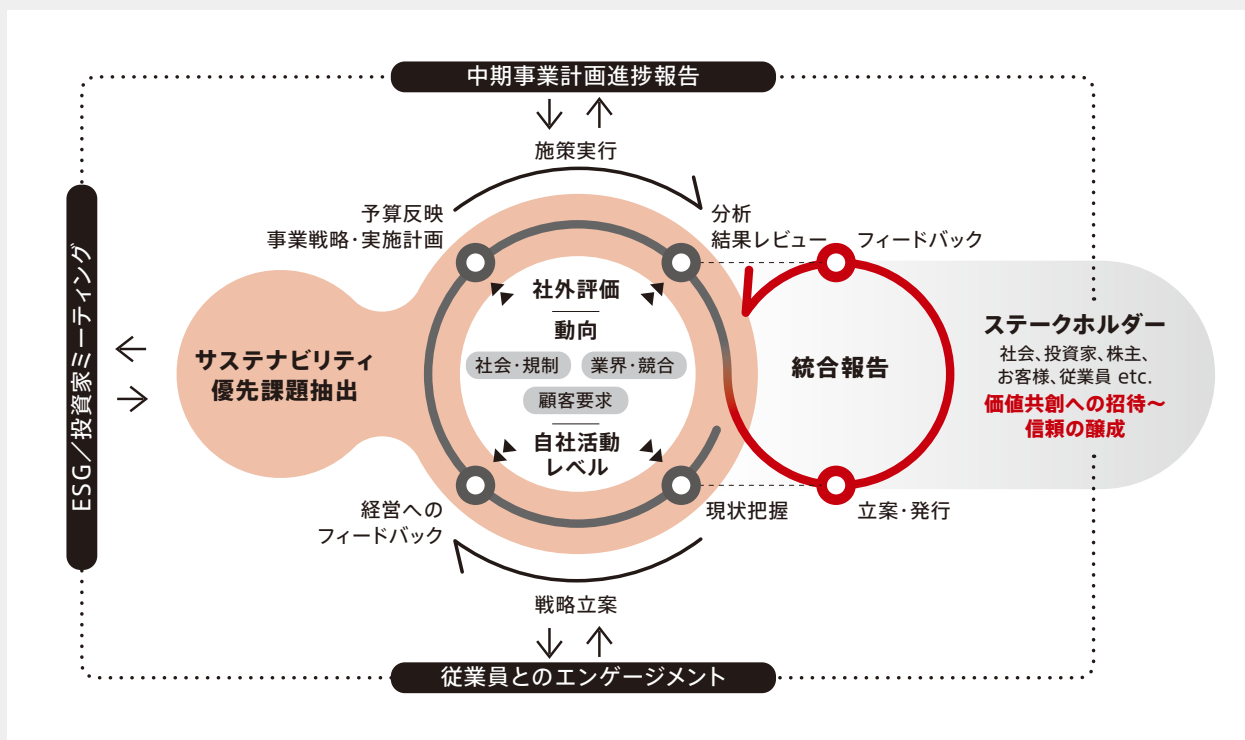
ブリヂストンは、機関投資家やNGO、従業員等、多様なステークホルダーとの対話を通じて、私たちへの期待や課題を確認しています。統合報告を起点にステークホルダーとのエンゲージメントを推進するとともに、サステナビリティ課題を優先付け、ビジネスと整合させながら経営戦略に織り込んで実行していくプロセスとも密接に連動させており、図のように2つのプロセスを両輪として回しながら、双方のプロセスの継続的改善を図っています。

サステナビリティ優先課題については、マテリアリティ・アセスメントに基づいて特定した26の課題を社会価値・顧客価値の創造という事業視点に基づき再整理し、Global CEOを含むグローバルの経営層でレビューした上で設定し、取締役会にも共有・報告しています。法規制などの社会動向や業界・競合動向、お客様の期待・要望などをセンシングし、リスクや機会及びそのインパクトの分析を通じて課題を抽出するとともに、主要な社外評価結果などの分析を通じて、私たちの活動レベルや情報開示内容と社会・顧客からの期待とのギャップを特定・確認しています。これらを基に、経営とも綿密な議論を行い、抽出した課題を経営戦略や事業戦略に組

み込んで推進し、その進捗や活動の結果、及び今後に向けた課題について経営に報告するというPDCAサイクルを継続的に回しています。さらに、活動の結果を積極的に開示し、統合報告を起点としたダイアログを通じて得られたステークホルダーからの期待や改善提案などのフィードバックも経営層に共有し、課題抽出や経営戦略に反映することで、統合報告のプロセスだけでなく、サステナビリティへの取り組みレベルの向上を含む経営戦略推進のプロセス全体を継続的に改善しています。(ステークホルダーとの対話の機会には、機関投資家とのESG面談やNGO・顧客等との対話、ESGスマールミーティングなどを含みます。)

優先課題はPDCAを回しながら継続的に見直しており、2024年度は以下の課題を抽出しています。

- サステナビリティビジネスモデルの確立・進化(カーボンニュートラルへの対応力強化、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブへの対応推進)
- お客様やパートナー、地域との信託の醸成
- 天然ゴムバリューチェーン
- 人権の尊重
- タイヤ・路面摩耗粉じん(TRWP)



対話を重視したIR活動や適時・適切な情報開示

当社は、ビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」の実現に向け、サステナビリティを経営の中核に据えた中長期事業戦略の実行を進めており、四半期毎の決算説明会等においては、決算だけでなく中期事業計画の進捗を定期的に報告しています。決算説明会等においてはGlobal CEOが自ら登壇しアナリスト・投資家の皆様と直接対話することが重要であると考えており、対話を通じて得られたさまざまな示唆を経営戦略やIR活動に活用することで、当社とアナリスト・投資家の皆様との相互信頼関係を構築できるよう努めております。

2024年3月には、中期事業計画（2024-2026）を開示すると共に、中期事業計画の発表会を対面・オンラインを併用したハイブリッド形式で開催いたしました。発表会においてはGlobal CEOに加えGlobal CTOも登壇し、戦略面・技術面の幅広い関心事項について、アナリストの皆様と闊達な意見交換を実施させて頂きました。

定期的な決算説明会等のほか、投資家の皆様との個別の対話の機会も拡充しています。Global CEOや社外取締役が投

資家と直接対話し、得られた示唆や期待についてはグローバル経営チームや取締役会へフィードバックを行い、将来に向けた価値創造に結び付けていくための議論や実際の事業活動に繋げています。

また、当社においては、経営戦略、事業活動、企業文化とサステナビリティの統合を推進するグローバルサステナビリティ戦略統括部門と、アナリスト・投資家の皆様に対する情報開示や対話を推進するIR部が連携することで、当社のサステナビリティ課題への考え方や、社会・お客様と共に持続的に成長していくための経営戦略について投資家の皆様との対話の機会を深めています。

適時・適切な情報開示の充実に加え、統合報告を通じてサステナビリティとビジネスを両立させる当社独自の価値創造ストーリーについても発信を強化しており、ESG投資の視点にとどまらず、当社がサステナブルなソリューションカンパニーとして成長していく上での投資家視点での期待について意見交換を行っています。

変化に対応できる「強い」ブリチストンへ戻し、真の次のステージへ進み、レジリエントな「エクセレント」ブリチストンを目指すという当社の成長に向けた道筋について、今後も情報発信をさらに強化していきます。

社外からの評価

前述のように、ブリチストンは社会からの要求や期待、リスクと機会及びそのインパクトを把握する手段の一つとして社外評価を活用しており、社外評価機関による評価の分析やアナリストとのエンゲージメントを通じて得られた示唆をサステナビリティへの取り組みや情報開示の継続的な改善につなげています。

 <p>Member of Dow Jones Sustainability Indices Powered by the S&P Global CSA</p> <p>「Dow Jones Sustainability World Index」2年連続で構成銘柄に選定されました。 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」14年連続で構成銘柄に選定されました。</p>	 <p>Sustainability Yearbook 2024に「Top10% S&P Global CSA Score」として掲載されました。</p>	 <p>「FTSE4Good Index Series」6年連続で構成銘柄に選定されました。</p>
<p>積極的な環境情報の開示を行い、以下の評価を獲得しました。</p>   <p>CDP 気候変動：A CDP 水セキュリティ：A- CDP サプライヤー・エンゲージメント：A</p>	 <p>ISS ESGによる「ESG コーポレートレーティング」の「プライム」評価に認定されました。</p>	 <p>MSCI「AAA」評価を獲得しました。</p>